

「SDGs(エスディーゼズ) (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)」



…目にしたことがありますか？

…主イエスのまなざしと出会うー 神さまに、隣人に、そして社会に仕える…25期の主題です。
 社会の一員として、全国の私たちの教会や女性会の活動へ視点を広げながら互いを知り、理解を深めたい。また、活動をSDGsの視点から捉え直す取り組みを前号からご紹介しています。
 会報163号ではSDGsの17の目標について簡単にご紹介しました。
 今回は17の目標の中のNo.5「ジェンダー平等を実現しよう」がテーマです。

ジェンダー平等を実現しよう

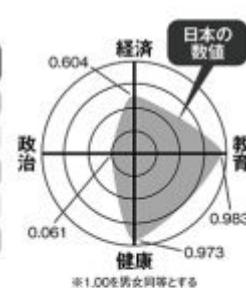
1) ジェンダーギャップ指数 2021 ▶日本120位/156カ国(G7では最下位) ●ジェンダーギャップ指数

▶ジェンダーギャップ指数(2021) 上位国および主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

【日本の状況】

評価分野	順位	2020年の順位
経済	117	115
教育	92	91
健康	65	40
政治	147	144
総合	120	121



【世界の順位】

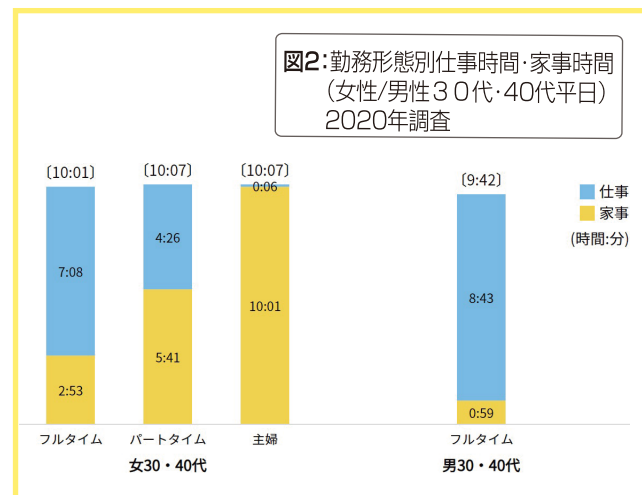
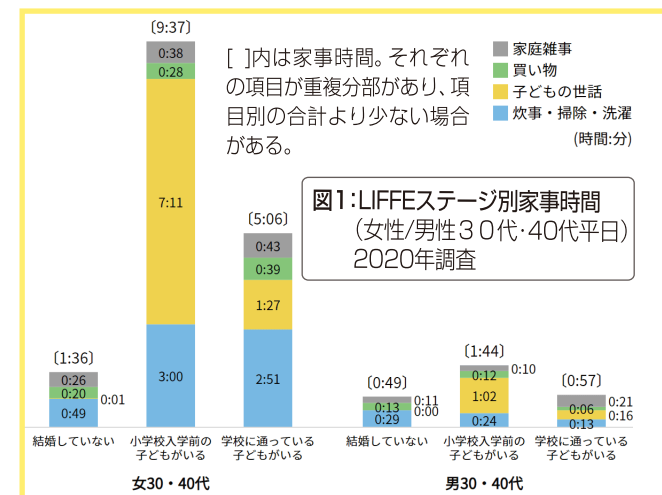
1位	アイスランド	39位	キューバ
2位	フィンランド	50位	オーストラリア
3位	ノルウェー	63位	イタリア
4位	ニュージーランド	72位	アラブ首長国連邦
5位	スウェーデン	81位	ロシア
6位	ナミビア	102位	韓国
7位	ルワンダ	107位	中国
11位	ドイツ	154位	イラク
15位	コスタリカ	155位	イエメン
30位	米国	156位	アフガニスタン

世界経済フォーラム(WEF)が政治・経済・教育・健康の分野で男女格差の大きさを国別に比較、数値化して毎年発表しています。
 ▶日本:2021年に調査対象の世界156カ国中120位。
 ▶主要7カ国(G7)では最下位。
 ▶分野別:政治(147位)、経済(117位)、教育(92位)、健康(65位)。
 ▶政治:順位の低さが顕著 ※衆議院の女性割合が低い
 ▶衆議院女性議員比率▶46名/464議席(2021年1月1日現在) 政治的な意思決定の場に女性が参画していない。
 ▶経済:収入における男女格差、管理職に就く男女差、専門職や技術職の男女差が影響。 ※低賃金で不安定な非正規雇用労働者の割合は、男性約2割、女性は6割近くあり、女性の経済力が低い傾向にあります。

2) ジェンダーバイアス (性別による決めつけ・偏見)

▷「男は外で働くもの、家事・育児は女のすること」今でもこう考えている人は案外少なくないかもしれません。
 ▷女性の非正規雇用の割合が高いのは、「家事・育児は女性のすること」と捉えられ、家庭との両立にちょうどよい働き方として非正規雇用を選択するケースが多いことも大きな要因と言えるでしょう。
 下記の図1,2は、NHK放送文化研究所の国民生活時間調査の結果です。

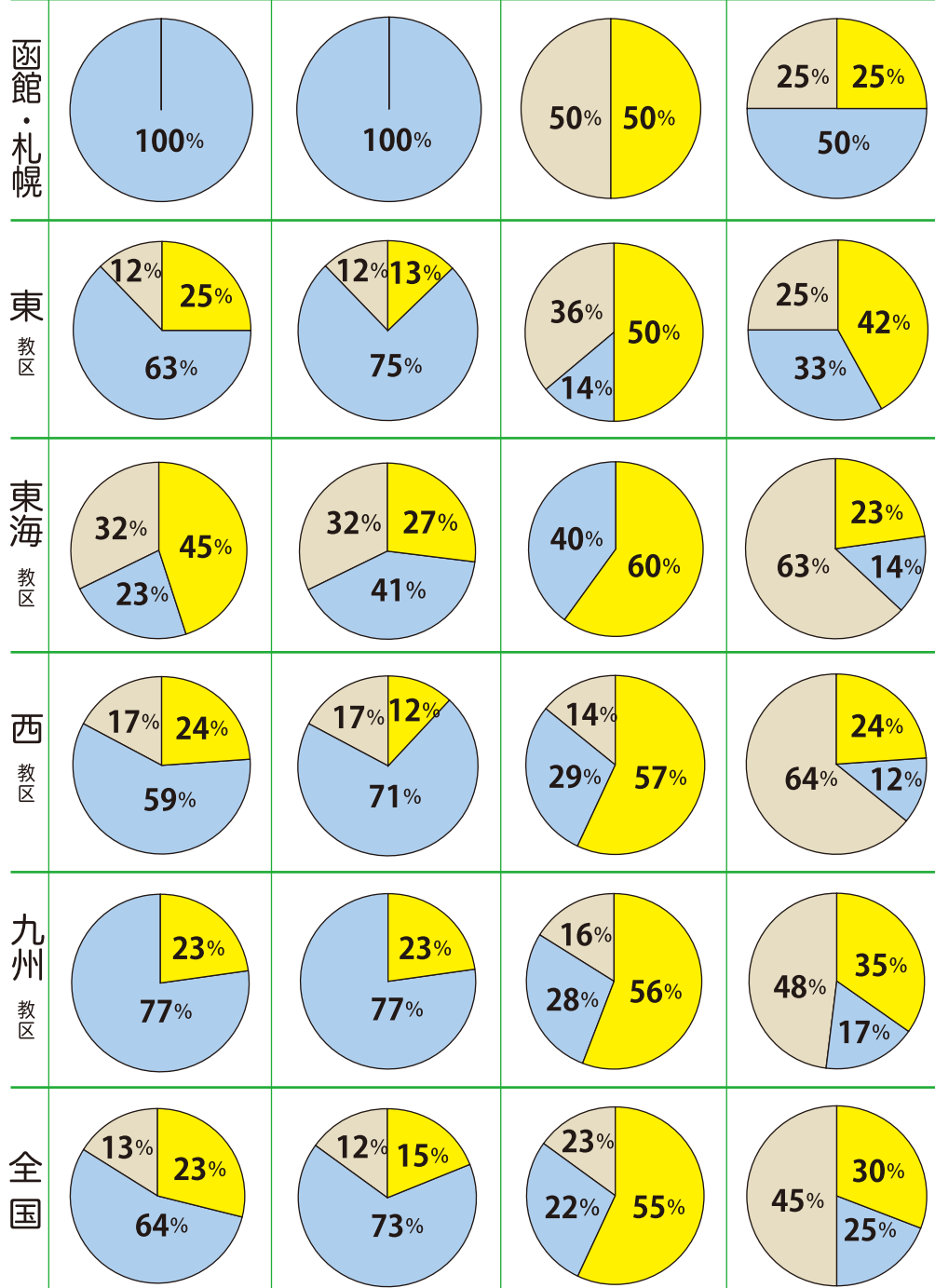
▷今回掲載のデータは一つの例に過ぎませんが、普段から自覚のないまま「男(女)だから～すべき、～すべきではない」というジェンダーバイアスにとらわれて、自分や周囲の人たち、子どもに対して制限をかけているかもしれません。



SDGs17の目標:No.5「ジェンダー平等を実現しよう」一緒に考えましょう

■ジェンダーについてのアンケート結果 *みなさまのご理解・ご協力に感謝します* 3) 絵本で読むジェンダー

□「兄・姉」を使用 □受付名簿「姉・兄」 □代議員 □清掃・食事作り
 ■使用 ■不使用 ■掲載 ■不掲載 ■男性 ■女性 ■担当 ■非担当
 ■その他 ■その他 ■両方 ■その他



『おんぶはこりこり』 アンソニー・ブラウン作/藤本朝巳訳 平凡社
 *ママがパパと息子たちをおんぶしている表紙。これを見ただけでどんな家族が想像がつかます。共働きでもママばかりが家事をして休む間もありません。帰宅した息子とパパはごろごろしながら夕飯を待つだけ。
 うんざりしたママは「ぶたさんたちのおせわはもうこりこり！」という書置きを残して家出をします。残されたパパと息子たちだけでは家事もままならず、家は汚れ放題、食べ物はなくなり、ついには3人ともぶたの姿に…。
 絵本の前半、ママは無表情で暗い雰囲気でした。それが最後には明るい笑顔に。家族が家事を分担して、ママも自分のやりたいことをやれるようになったから。隠し絵や暗示的な絵があって見れば見るほどおもしろい。家族のなかのジェンダーを考えるきっかけになる絵本です。

■女性会の皆さま、取り組みの情報などを下記へお寄せください。
 連絡先:広報担当
 Tel/Fax:095-800-2577
 携帯:080-1782-5665
 メール:toranekobunko@lib.bbq.jp

アンケート設問内容 各教区と個教会女性会みなさまへアンケートにご協力いただきました。
 ■設問で当てはまるほうに○をつけてください
 1.教会の中で「～兄」「～姉」という呼び方をしていますか？
している していない
 2.1で「している」と答えた方のみ
どんな場面ですしていますか？
 例)週報に名前を載せるとき
 3.礼拝の受付名簿は男女別になっていますか？
なっている なっていない
 4.代議員は男性ですか？女性ですか？
 (両方の場合は人数も記載ください)
男性 女性
 5.教会の清掃、食事作りは女性会が担当していますか？
担当している 担当していない
その他()
 6.教会の中での男女のあり方について
 ご意見やご希望があればお書きください。